

## 4 目標達成に向けた今後の取組方針

本構想で掲げた「汚水処理施設の早期整備」及び「持続的な汚水処理システムの構築」の目標達成に向け、次の取組を実施します。

奈良県汚水処理構想の着実な実行のため、奈良県及び市町村が掲げるベンチマーク(指標)に基づいて進捗管理を行います。

奈良県は、汚水処理構想の点検を5年に1回を基本とし、汚水処理構想の進捗状況、将来人口の推計値及び実績値等を確認し、差異が生じた場合には、本汚水処理構想の見直しを行います。

また、以下に示す社会情勢の変化、都市計画等上位計画の大幅な見直しがあった場合等、必要に応じて見直しを行います。

表 4-1 奈良県汚水処理構想の見直しを実施する要因

分類	内容
社会情勢の変化、上位計画(都市計画等)の大幅な見直し	人口動態、世帯形態の変化
	都市計画等、上位計画の大幅な見直し
	土地利用の変更
	施設の整備状況及び整備計画の奈良県汚水処理構想からの乖離
	大規模な開発及び再開発計画
	水源水質の確保等、水環境保全の必要性の変更
	市町村合併による行政区域の再編
新規技術等	耐震基準等の改正に伴う施設要求性能の変更
	関連技術開発に伴う施設内容の大幅な変化
	価格変動等に伴う施設配置単価の変化

進捗管理及び計画の見直しは、一過性で終わらせるものではなく、持続して常に最適化を図るために、PDCAサイクルに則った取り組みを行います。

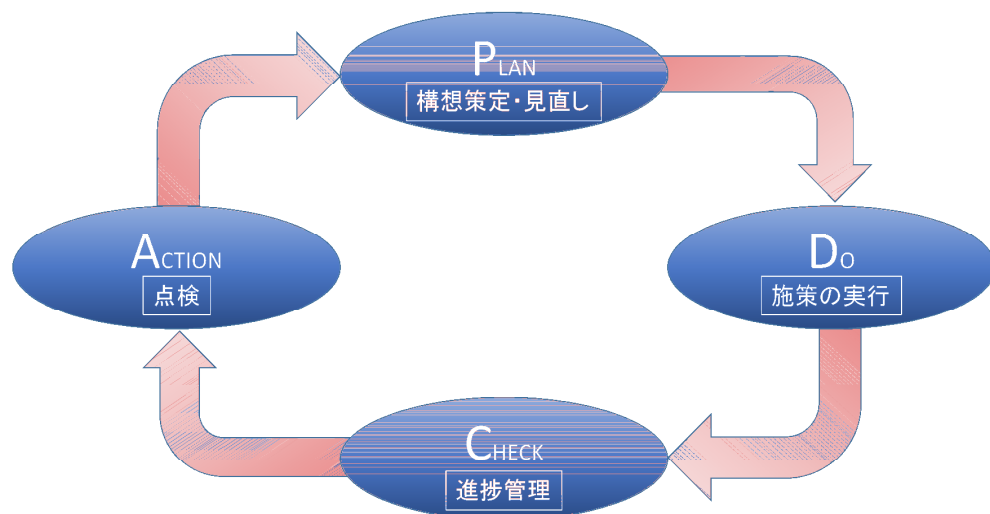


図 4-1 目標達成に向けた取組みにおける PDCA サイクルの概要